

平成29年度 学カスタンダード指導計画・報告書

教科：(外国語) 科目：(コミュニケーション英語Ⅰ) 対象：(第1学年 A組～ E組)

科目担当者：(A組:印) (B組:印) (C組:印) (D組:印) (E組:印)

教科・科目の指導目標	「話す」、「聞く」、「読む」、「書く」の4技能をバランスよく向上させる。
------------	--------------------------------------

	高校入試等の分析結果・前年度の学力調査分析結果	分析結果を踏まえて検討した指導内容	指導体制の確立
年度当初	<p>1. 聞き取った事柄について英語で表現する問題の合格者正答率は34%と、ディクテーション能力がかなり不足していることが判明した。</p> <p>2. Eメールの返事を3文で書く問題の合格者正答率は65%と、英作文能力が比較的低いことが判明した。特に語彙力不足と基本的な文法のミスが目立った。</p> <p>3. 対話文を読み取る問題の合格者正答率は82%と高かったが、物語文のあらすじと要点を把握する問題の合格者正答率は73%と、比較的低かった。</p>	<p>1. 「コミュニケーション英語」のJETとの授業でディクテーションを積極的に取り入れる。さらに週1回、「HyperListening(桐原書店)」を使って、ディクテーションを含めたリスニング練習をする。「コミュニケーション英語」の定期テストで毎回リスニングを実施する。</p> <p>2. 「英語表現」の授業で、そのレッスンの文法を使った「3文英作文」を作らせ、提出させる。週1回単語テストを実施し、語彙力の強化を図る。</p> <p>3. 「コミュニケーション英語」で週に1回、「RapidReading(美誠社)」を使って、速読力をつける。なお、教科書は精読用とする。</p>	<p>・「コミュニケーション英語」も「英語表現」も担当者が2人なので、こまめに授業目標・指導内容・指導方法・進度・評価基準等について情報を共有する。</p> <p>・特に基礎学力が低い生徒の指導方法について科目担当者の間での意思疎通を図り、個別指導を行う。</p> <p>・考査前後にワークブック、プリント、ノート等を提出させ、授業への取り組みについて確認・評価する。</p> <p>・課題テスト・定期考査は共通問題とし、出題を持ち回りとして、学年全体の底上げを図る。</p> <p>・長期休業中に講座を開き、集中的に実力向上を目指す。</p> <p>・「Gテック」を取り入れ、幅広い英語力を身につけさせる。</p>

	生徒の変容	生徒の学力の定着状況	次年度に向けた指導体制の改善
年度末			